

問 市川議員

今回、ドローンの購入費が計上されているが、何機購入し、どこに配備するのか。

答 水田土木課長

1機で本庁の土木課を予定している。

問 市川議員

平成29年8月29日に越裏門地区で「本川地区の未来を考える会」が開かれ、地域より、ドローンの購入ができないか、との要望に「災害が発生したときに、その事務費で検討する」とのことであった。その後9月議会には約800万円、12月議会には600万円が補正されているが、その際には検討しなかったか。

答 池田町長

本庁の土木課、各総合支所とも協議を行い、まず、

公用車の購入を優先した。

各総合支所にも必要であることから、災害が発生したとき、その事務費で検討する。

問 岡田議員

八田保育園改築工事の際、園児を他の保育所に預けることになる。

①協力してもらええる保育所は決まっているのか。
②その際、送迎バスの運行予定はあるのか。

答 山崎教育次長

①預ける園は、決まっているわけではない。保護者に選んでもらう。
②保護者の意見を聞きながら、検討する。

問 山岡議員

2018年度国の地方財政計画によると、地方税収は約400億円の増を見込んで地方交付税を約320億円の減としている。そして2017年度に比較してもそれを上回る一般財

源を確保したとしている。

しかし、本予算書では町税収が5879万4000円の減となっており、国の見解とは離れている。

そんな中、地方交付税の計上を対前年度比1億円の減、45億5000万円とした根拠は。

答 筒井総務課長

地方の景気はいまだに厳しい状況が続いている。

地方財政計画では、地方交付税も対前年度比減となっており、町としても過大な見込みはできない。

加えて当町は合併算定替えから一本算定による交付税の縮減ということもあり、それらを判断しても適切な計上を見込まなければならぬことから、対前年度比1億円の減とした。

(発議第2号)

平成30年度一般会計予算議定に関する議案に対する修正動議

発議者 市川けんじ
発議者 池沢のりこ

発議者 藤崎 憲裕

発議者 浜田 孝男

発議者 筒井 公二

発議者 土居 豊榮

発議者 筒井 一水

発議者 森本せつこ

【提案理由】(原文)

平成29年10月19日から平成30年3月31日までの委託業務にて行われている総合案内所の予算が、平成30年度は賃金として予算化されている。その内容については、現在の内容の委託料では維持ができないとの業者からの申し入れから、賃金214万8048円と、被服費9万円として計上したとの説明であった。十分な検証結果、必要性の説明もなく、形を変えての予算計上は当然認められるものでなく、本予算の修正を提案する。

問 森議員

①提案理由では、「十分な検証結果、必要性の説明もなく」と言われているが、合同審査や質疑の中で十分な質問し説明を受ける時間は

あったはずだが、どのような形か。

②「形を変えての予算計上は認められない」と言われているが、委託業務より安価であり、事務補助員(賃金)として社会保険料も計上され、町としても雇用される方も、このような形がいいと思われるが、その点についてはいかがなものか。

答 市川議員

①合同審査や質疑議論も行ったし、同僚議員からも質問もした。必要性については、十分議論がされなかったし、来庁された方が、分かりやすい看板、誘導サインで十分である。

②委託から賃金に形を変えても同じ総合案内である。先ほど答弁したとおり、十分に看板や誘導サインで対応できる。

問 井上(敏)議員

十分な検証結果や必要性の説明もないとのことだが、高齢化がますます進行する